



# 校長室だより

2025

一人一人が輝く  
★チーム美川

令和7年11月21日  
白山市立美川小学校  
白山市美川和波町ワ229  
TEL 278-2063

## 「地域とつながる学び～6年生総合学習『つながりカフェ MIKAWA』～」

校長 中野 和人

美川小学校の6年生は、総合的な学習の時間に「空き家問題解決プロジェクト」に取り組んでいます。今年も、地域の空き家を活用し、人と人がつながる場をつくることを目指して『つながりカフェ MIKAWA』をオープンする準備を進めています。

この学びには、学校教育として大きな意味があります。

第一に、社会参画意識の育成です。子どもたちは「地域の課題を自分たちで解決する」という体験を通じて、公共心や責任感を育みます。

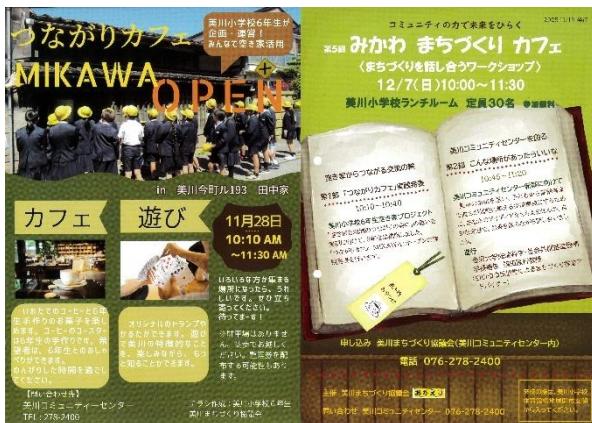
第二に、課題解決力とコミュニケーション力の向上です。地域の方々や仲間との対話を通じて、情報を集め、アイデアを出し、実行する過程で、主体的に考え、協働する力が磨かれます。

さらに、この取り組みは教科横断的な学びの実践です。社会科で地域の現状を調べ、算数でアンケート結果を分析し、国語でプレゼン資料を作り、家庭科で暮らしの工夫を考え——こうして複数の教科で学んだ知識や技能を総合的に活用します。

そして、この過程で育つのが「主考力」（=自分で考え、判断し、行動する力）です。これから時代に必要なのは、正解をつくり出す力です。人口減少や地域の変化、SDGsに関わる課題など、社会は複雑になっています。こうした課題に対応するためには、知識を活用しながら、自分で考え、判断し、行動する力が不可欠です。

このプロジェクトは、まさに「探究的な学び」の実践です。自分たちで問い合わせを立て、調べ、考え、表現するプロセスを経験し、その中で新たな問い合わせが生まれ、取り組むことで学びが深まります。こうした学びは、子どもたちの「生きる力」へとつながります。

『つながりカフェ MIKAWA』は、子どもたちが「自分たちの学びが社会を変えられる」という実感を得る貴重な機会です。保護者・地域の皆様にもぜひ、この挑戦を応援していただければと思います。



### 教科横断的な学びと主考力の育成

教科で学んだことを活かし、自分の頭で考えよう！

空き家問題解決プロジェクト



主考力

教科横断的な学び

社会科  
歴史の根柢  
を育てる

算数  
アンケート結果  
をグラフに

国語  
構架を文書  
にまとめた

家庭科  
暮らしの工  
式をまとめる

どうすれば地域の人  
が集まる？

どんなしくみにすれば  
続けられる？

「つながりカフェ MIKAWA」とまちづくりカフェ」

「主考力育成と教科横断的な学び」